

適合規格	ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ 日本塗料工業会登録 T01149			
系 統	水系2液反応硬化形ウレタン樹脂塗料			
特 長	1) 弱溶剤形ウレタン樹脂塗料に匹敵する肉持ち感を持つ塗膜を形成します。 2) 弱溶剤形ウレタン樹脂塗料に匹敵する高い光沢・鮮映性を有する塗膜を形成します。 「ただし1) 2) の特長を発揮するには電動器具による十分な攪拌が必要です。」 3) 臭いが穏やかです。ほとんど溶剤臭はありません。 4) 強靱な塗膜を形成します (鉛筆硬度 3H)。 5) 高い耐屈曲性を有します。(円筒型マンドレル法 2mm 180度)			
推奨用途	内外部の鉄扉、鉄骨などの金属面上塗、木部、コンクリート、サイディング等の上塗			
荷 姿	16kgセット、4kgセット	労働安全衛生法による表示の種別		
混 合 比	A : B = 14 : 2		【A 液】 _____	
色 相	各色			
可 使 時 間	10℃	23℃	30℃	【B 液】 イソシアネート樹脂
	8時間	8時間	4時間	
乾 燥 時 間		10℃	23℃	30℃
	指触	2時間	1時間	0.5時間
	硬化	18時間	8時間	4時間
塗装間隔 (23℃)	下限 3 時間 上限 7 日			
標準塗付量 (kg/m ² /回)	は け、ローラー	0.10~0.12		
	エアレス	0.13~0.15		
	15kgセット当たり 約 125m ² (1回塗り)			
標準乾燥膜厚	30 μm/回			
塗 装 方 法	はけ、ローラー、エアレス		有機溶剤中毒予防規則の種別	
希 釈 剤	上水		【A 液】	
希 釈 率	ローラー	5 ~ 15 %		【B 液】
	は け	5 ~ 15 %		
貯 蔵 安 定 性	6ヵ月 (混合前)		毒物および劇物取締法による表示	
消防法による表示	A 液: 非危険物 B 液: 指定可燃物 (火気厳禁)		_____	
塗 装 上 の 注 意	1. 石油缶で混合する場合は電動器具による十分な攪拌を必ず行ってください (目安は3分)。棒などによる攪拌では所定の外観が得られません。小分けして用いる場合でも3分程度攪拌してください。 2. 製品説明書に示された可使時間を厳守してください。可使時間を越えた場合は物性の低下が起こります。 3. 塗装中、乾燥中ともによく換気してください。 4. 気温5℃以下・湿度85%以上での塗装は避けてください。 5. 混合後は必ず蓋をして、直射日光の当たらないところにおいてください。 6. 塗料缶に表示している安全衛生上の注意事項を確認の上、ご使用ください。 7. スプレー塗装の場合、スプレーダストが付着し仕上り外観が著しく低下しますので十分注意下さい。			
適合する主な下塗塗料	下塗塗料: トアアクセス21フィラー、パーメイトシーラーII、セラシーラーMS、トアガイアプライマー、スーパーエピライトマイルド等			

組成表・試験成績表



商 品 名	トア社
規 格	社 内 規 格

組 成 (白)	成 分	% (重量比)
A	着 色 顔 料 特殊アクリル系樹脂ワニス 添 加 剤 水	22.0 53.0 4.0 8.5
	B	イソシアネート樹脂ワニス
A : B = 14 : 2	合 計	100.0

試 験 結 果	下記の数値は実績値に基づいた標準値です。	
試 験 項 目	試 験 成 績	規 格
容器の中での状態	合 格	主剤, 硬化剤ともかき混ぜたとき, 堅い塊がなくて一様になるものとする。
乾 燥 時 間	合 格	1時間以内
ポ ッ ト ラ イ フ	合 格	23℃で5時間以上。
塗 膜 の 外 観	合 格	塗膜の外観が正常であるものとする。
塗 装 作 業 性	合 格	はけ, ローラー塗り作業に支障があってはならない。
鏡面光沢度 (60度)	83	80以上(ガラス板塗装, 6ミルアプリーケーター)
耐 水 性	合 格	水に7日間浸しても異常があってはならない。
耐 アルカリ性	合 格	5%水酸化ナトリウム溶液に7日間浸しても異常があってはならない。(スポット試験)
促 進 耐 候 性	合 格	見本品と比べて大差がないものとする。(キセノン促進試験 1000時間)